

1 業務名

平成30年度歴史的建造物調査委託業務

2 業務場所

米子市福万

3 業務期間

平成31年3月27日まで

4 業務目的

歴史的建造物の測量調査を行い、建造物の平面図、立面図、断面図及び配置図を作成することを目的とする。

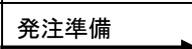
5 業務概要

業務名	業務内容
平成30年度 歴史的建造物調査委託業務	歴史的建造物の調査及び図面の作成 建造物の平面図、立面図及び断面図の作成（縮尺1/100） 敷地全体の配置図作成（縮尺1/200～1/300程度）

6 設計金額

8,455,320円

7 スケジュール

平成30年度				
11月	12月	1月	2月	3月
	発注準備 	委託期間 		

測量対象物件位置図

1 対象物件

A家住宅（米子市福万）

2 位置図

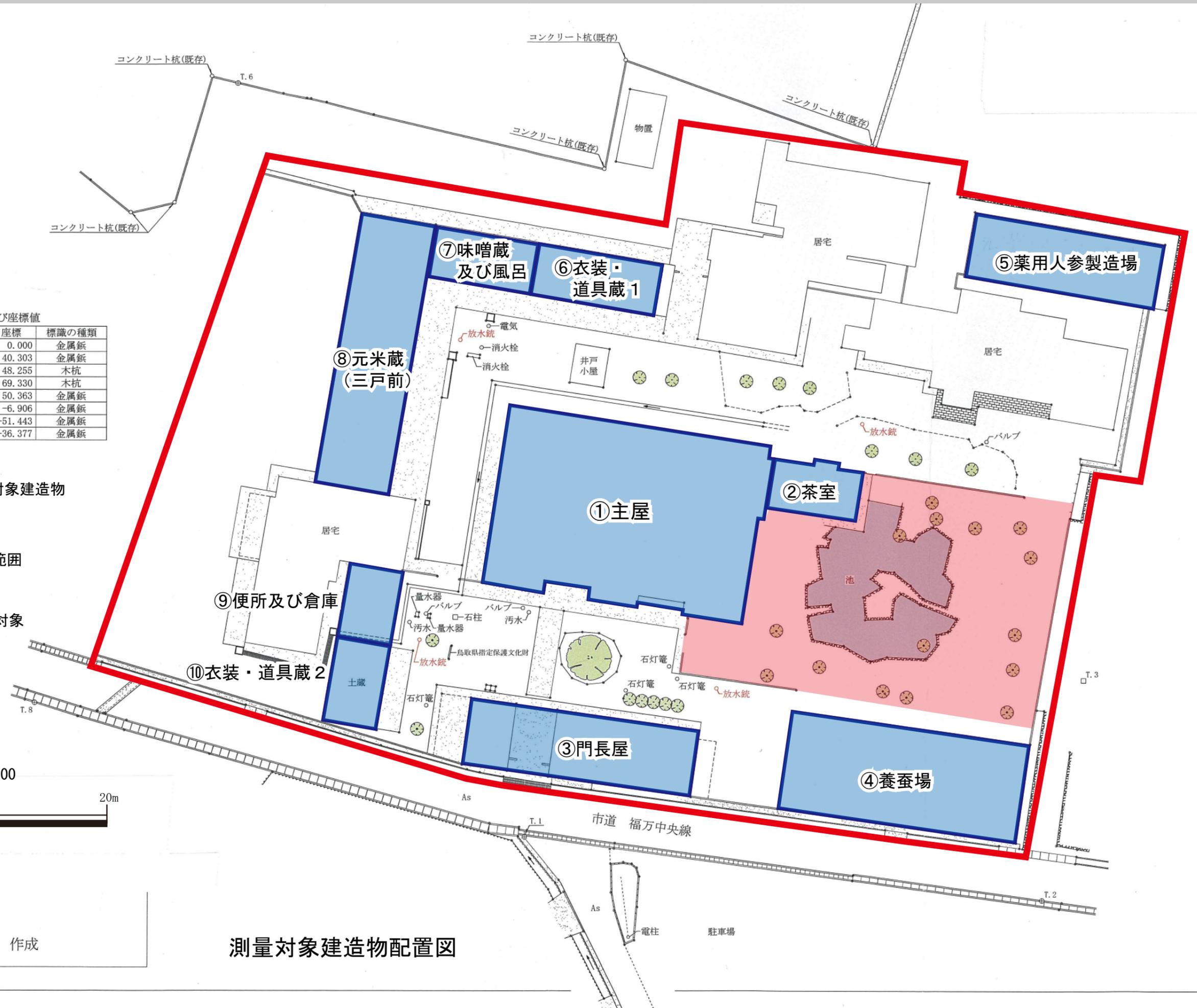


縮尺 S=1:300

多角点の名称及び座標値

名称	X座標	Y座標	標識の種類
T.1	0.000	0.000	金属錐
T.2	-16.190	40.303	金属錐
T.3	0.521	48.255	木杭
T.4	28.368	69.330	木杭
T.5	60.151	50.363	金属錐
T.6	66.650	-6.906	金属錐
T.7	42.589	-51.443	金属錐
T.8	21.245	-36.377	金属錐

- 測量調査対象建造物
- 敷地測量範囲
- 敷地測量対象庭園部分



S=1/300

0 20m

土地家屋調査士

平成28年 8月19日 作成

測量対象建造物配置図



敷地全体（航空写真）



①主屋



左：①主屋 右：②茶室



③門長屋



④養蚕場



⑤薬用人参製造場



⑥衣装・道具蔵 1



⑦味噌蔵及び風呂



⑧元米蔵



⑨便所及び倉庫



⑩衣装・道具蔵 2



庭園（西側主屋から撮影）



庭園（東側から撮影。奥左が主屋、右が茶室）

平成30年度歴史的建造物調査委託業務仕様書

(業務内容)

- 1 別添資料の物件（1件）を調査測量の上、別紙に示す図面を作成する。

縮尺は、平面図、立面図及び断面図は1/100とする。

配置図は1件がA3以内に納まるように調整すること。

(測量作業)

- 2 調査測量の際には、受託者が直接物件所有者と日程を十分調整して工程表を作成し、文化財課に提出すること。

なお、本物件の所有者は多忙なため、所有者の都合により日程変更の必要が生じる可能性がある。その場合は適宜、所有者の都合に合わせて日程を変更するとともに、変更後の工程表を文化財課に提出すること。

(成果品)

- 3 成果品は次のものとする。

(1) 作成図面 白焼き 各二部

(2) 作成図面 CADデータ（DXFデータに変換のこと）及びPDFデータ（CDまたはDVDに記録したもの） 一式

(3) 調査写真データ（CDまたはDVDに記録したもの） 一式

(4) 調査野帳（写し） 一部

(5) 作業日報 一部

- 4 測量業務の作業内容、成果図面の品質については別添資料を標準とし、事前に文化財課と協議を行うこと。

- 5 調査測量が終わった段階で、文化財課に調査資料を提出し、文化財課長が任命する監督員による図面精度の確認を受けること。

(成果品の検査)

- 6 検査は文化財課長が指名した検査員が行う。

- 7 検査終了後においても、受託者の責に帰すべき事由による成果品の不備が生じた場合には、受託者の責任において、直ちに修正などの作業を行うものとする。

(その他)

- 8 本仕様書に明示されていない事項について疑義を生じた場合は、両者協議の上、適切に処理するものとする。

- 9 本業務の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は、対価の完済により鳥取県教育委員会に帰属する。

平成30年度歴史的建造物調査委託業務仕様書（別紙）

建造物調査

下表の建造物の調査を行い、表に示した図面を作成する。

	階数	配置図A (屋根伏図)	配置図B (平面図)	平面図	立面図	断面図
A家住宅(米子市)		1	1			
①主屋	平屋			1	1	1
②茶室	平屋			1	1	1
③門長屋	2階建			1	1	1
④養蚕場	2階建			1	1	1
⑤薬用人参製造場	平屋			1	1	1
⑥衣装・道具蔵1	2階建			1	1	1
⑦味噌蔵及び風呂	平屋			1	1	1
⑧元米蔵	2階建 三戸前(各戸内部独立)			1	1	1
⑨便所及び倉庫	一部2階建			1	1	1
⑩衣装・道具蔵2	2階建			1	1	1
計		1	1	10	10	10

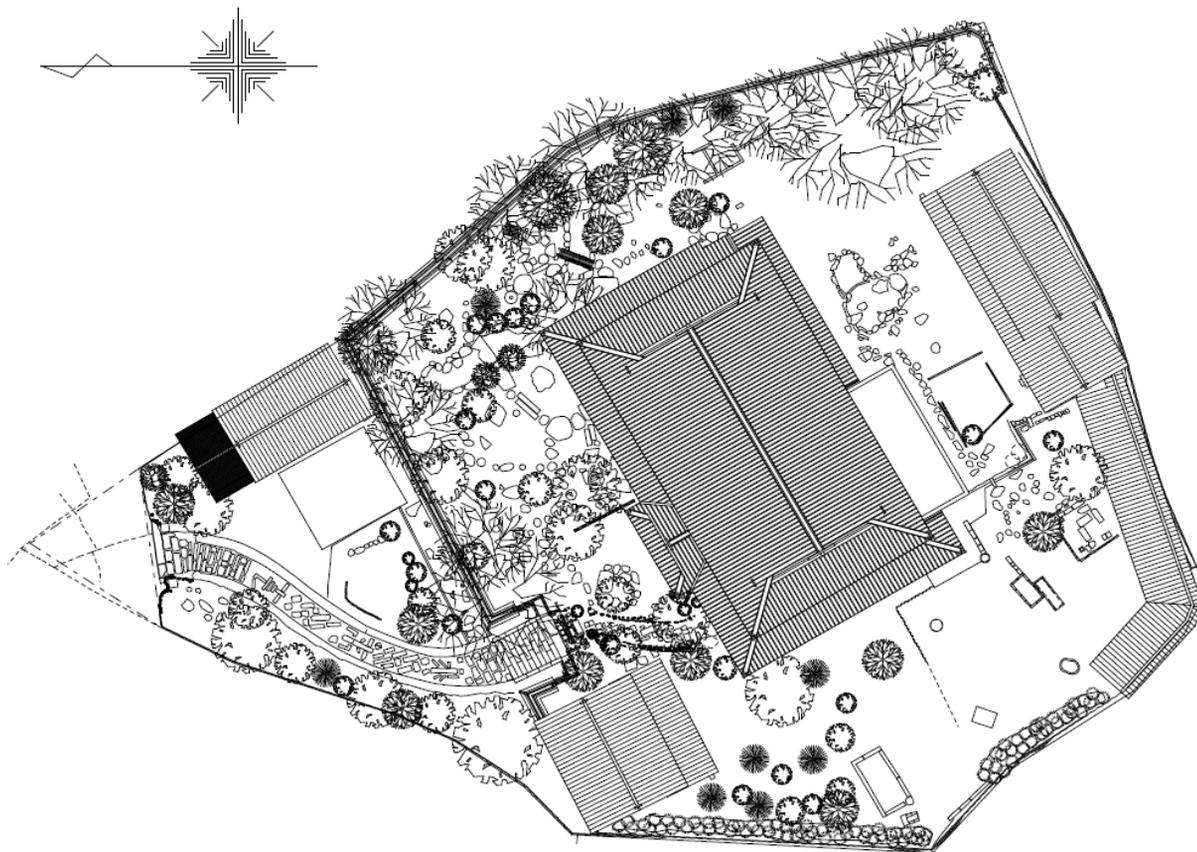
※配置図については、A3以内に納まる縮尺で作成。

※平面図、立面図及び断面図については、縮尺を1/100とする。白焼きは原則A3又はA4とするが、A3に納まらない場合はA2以上で1枚にしたものと、A3以内で分割したものとすること。

《 注意事項 》

- (1) 配置図の精度は成果品見本1と同程度とする。
- (2) 上記表にない敷地内建築物及び工作物については、個別の図は必要ないが、配置図に表すこと。
- (3) 配置図での測量対象となる庭園部分については、成果品見本2と同程度の精度とする。
- (4) 瓦の枚数や格子の本数は忠実に表現すること。
- (5) 断面図では、小屋裏や床下などで、立ち入りが困難な場合は白抜きとして良い。
- (6) 梁の曲線や漆喰彫刻などの絵柄は忠実に表現すること。

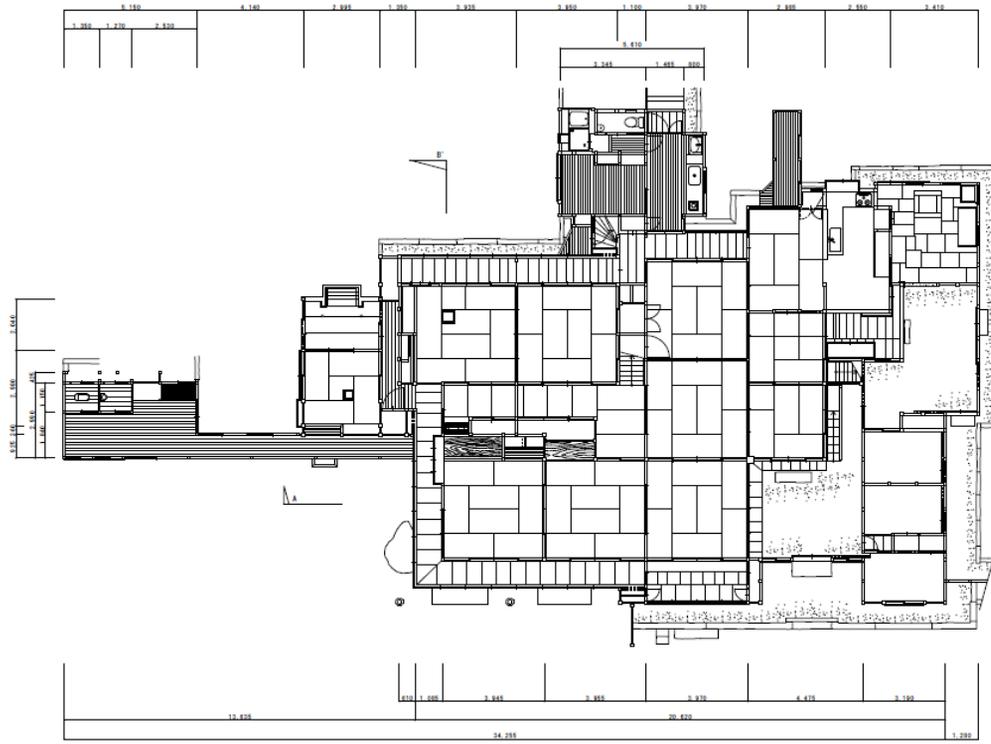
成果品見本1 配置図(屋根伏図)



成果品見本2 配置図(庭園部分)



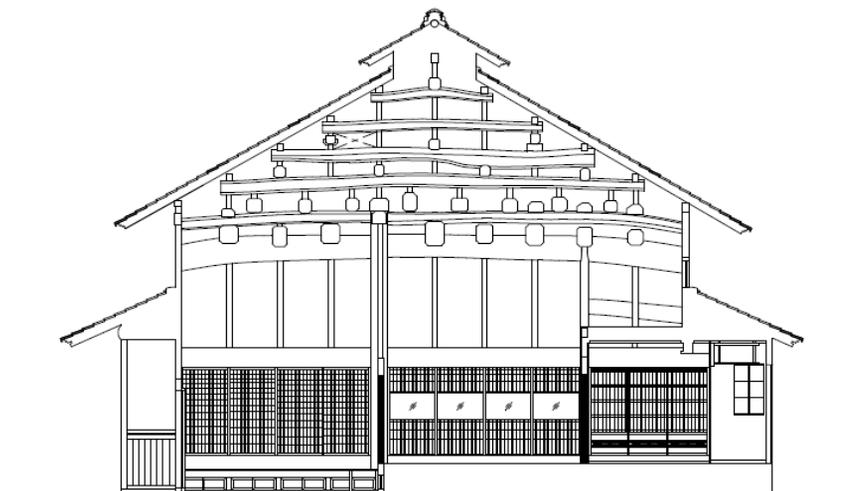
平面図



立面図



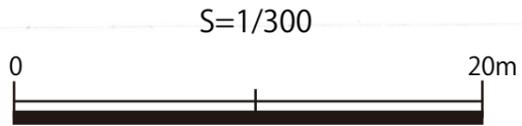
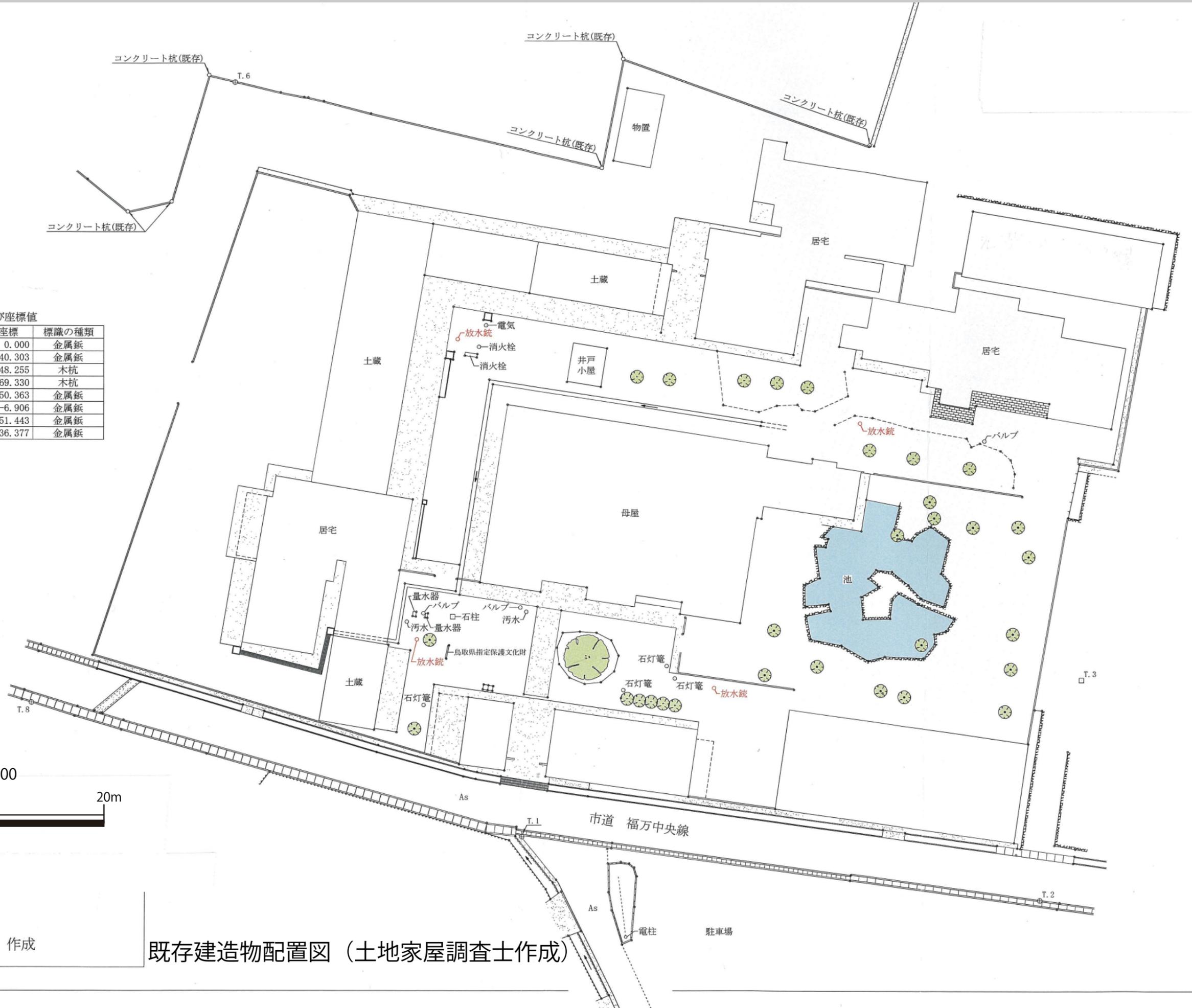
断面図



縮尺 S=1:300

多角点の名称及び座標値

名称	X座標	Y座標	標識の種類
T.1	0.000	0.000	金属錕
T.2	-16.190	40.303	金属錕
T.3	0.521	48.255	木杭
T.4	28.368	69.330	木杭
T.5	60.151	50.363	金属錕
T.6	66.650	-6.906	金属錕
T.7	42.589	-51.443	金属錕
T.8	21.245	-36.377	金属錕



土地家屋調査士

平成28年 8月19日 作成

既存建造物配置図 (土地家屋調査士作成)

